

シーバスルアーフィッシング

さてさてここではシーバスルアーフィッシングを紹介しますよ！
シーバスってのはスズキのこと。20cm～1mまで大きくなる魚が
身近な海や河口で手の届く範囲で潜んでる！
おもちゃみたいなルアーを使って、お手軽だけど奥が深い
シーバス釣りを始めてみよう！

1. 表紙 がんばって釣りましょー！
2. シーバスって？ どんな魚なの？
3. タックル どんな仕掛けで始めれば良いの？
4. ルアー ルアーってなに？ヒトツじゃないの？
5. シーズナルパターン いつどんなところで釣れるんだろうか！？



シーバスってどんな魚？

[Go to
TakeCafe TOP](#)

◀ 1 2 3 4 5 ▶

1. どんなところに住んでんの？

シーバスは沿岸部のほとんどのところに住んでいる海水魚です。内海・外海問わず住んでいます。磯にもいるし、砂浜・干潟にもいる、漁港や川の河口、それどころか川を上って、河口から10kmも上流の純淡水域にもいます。

水深も浅いところから、数十mの深いところにまで住んでいます。彼らは海と行き来できて餌がいるところにはどこにでもいると言っても過言じゃありません。

と言っても、上のどのフィールドに行ったとしても広すぎてどこにいるのかわかりませんね！

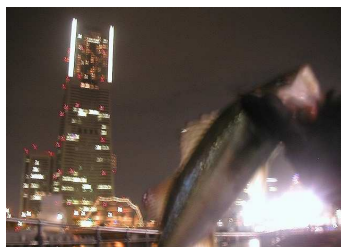
ってことで、それぞれのフィールドでどんなとこにいるのか書いてみましょう！

港湾部:

いわゆる港です。東京湾のような全体が港みたいなところもあります。主なポイントは・・・
明かりのあたる影との境、岸壁、浅場と深場のエッジ、堤防の角、船の下、橋脚、船上げスロープ

河川: 流れの瀬とたるみ、橋脚、明暗部、障害物、浅場、堰堤下、浅場と深場のエッジ

磯: サラシ(波が砕けて白い泡が広がっているところ)、岩陰、沈み岩、海藻地帯、潮どおしのいいところ



2. 時間帯は？潮周りは？

昼夜とわず、シーバスは餌をたべますが、陸から狙ってチャンスが大きいのは夜と、朝・夕です！この時間は活性が高いのですよー。潮は動いているときが良いですね。かといって別に大潮である必要はありません。流れの脇でエサが来るのをまっています。潮どまりには少しでも水が動くところを攻めてみよう！

3. 何を食べてるの？

シーバスは肉食性の魚です。小魚やエビ、カニ、虫類、小動物を食べます。

魚で言えば、20cm程度までの魚はすべて餌と言って良いでしょう。
海なら イワシ・ボラ・アジ・コノシロ・サヨリ・・・
川なら アユ・ボラ・ハゼ・オイカワ・ウグイ・フナ……

甲殻類はエビ・カニ・シャコ・オキアミなんぞです。

虫類で主な餌として挙げられるのはゴカイ類。干潟や河口なんぞに住んでいるキモチワルいヤツです。

ルアーにシーバスが食いつく理由を簡単に言ってしまうと、ルアーが基本的にコイツら餌となる生き物の動きをマネているからなんです。

スズキ君はどこにでもいるが、エサがないとこにはいないぞ！
エサがいつ、どんなとこにいるか観察してみよう！

さあ！近く海を見てみよう！さて、スズキ君はどこにいる！？

タックル

[Go to TakeCafe TOP](#)



ロッド(竿):

○ルアーロッド

- ①港湾部・小中河川 : 6~9フィート
 - ②サーフ・大型河川・磯・干潟 : 8~12フィート
- * 8.5フィートあたりで硬さは“ミディアムライト”が万能。

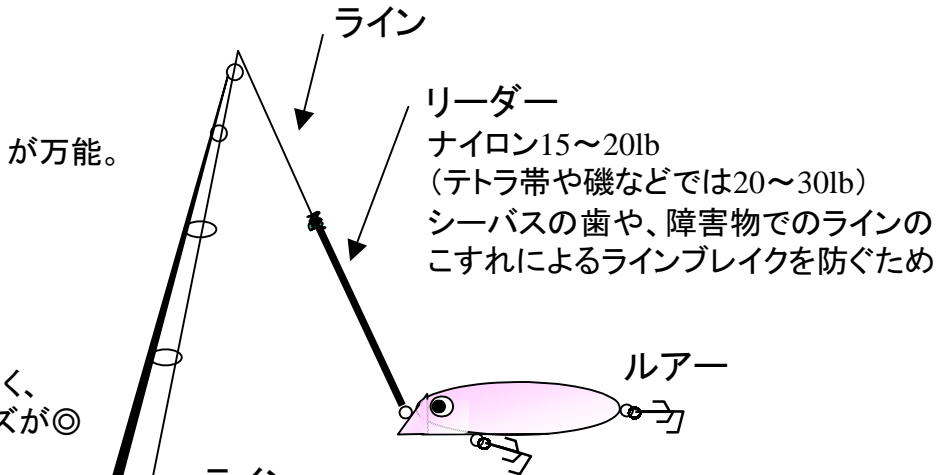
値段: ¥7000~¥15000程度がお手軽。
高いと¥40000を超えるものもあるが、
慣れて特性にあわないと無駄遣いに...

- * 橋ゲタ・樹木・手すりなどキャストする際に障害物が多く、キャスト距離も比較的短い①では手返しが良いサイズが◎
- * 遠投が必要なサーフや、水中障害物の多い磯では、長いロッドが絶対有利。波が高いときは短いロッドでは釣りにならないことも...

リール: 下記の条件を満たしているものが好ましい。

- ・スピニングリール(一般的な形のリール)
- ・右記ラインが100m程度巻けるもの。
- ・糸よれ防止機能がついているとよい。
(糸よれしにくく、ライントラブルが少ない。)
- ・番号が2000~3500となっているものが適当。
2500あたりが万能。

- * 左手まきのほうが手換えしよく投げ&巻きが可能。
最近のリールは左右ハンドルを変更可能。



ライン:

- ◎PEライン: 12~18lb
- ナイロンライン: 12~15lb

【PEライン】

- ・ナイロンに対してしなやかで細い(径が1/2程度に)
→ 圧倒的に飛距離がでる。
- ・高感度なため、ルアーの動きがわかりやすい
- ・しなやか過ぎてラインが絡まるやすい
- ・値段が高い(¥3000程度)
- ・伸びがないため、魚をかけてもバラシやすい

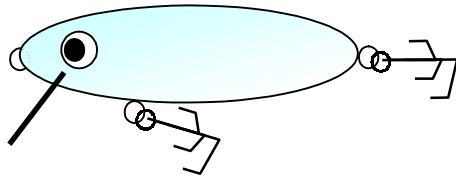
【ナイロンライン】

- ・径が太い。飛距離がでない。
- ・クセがつきやすく、ライントラブルが多い。

ルアー

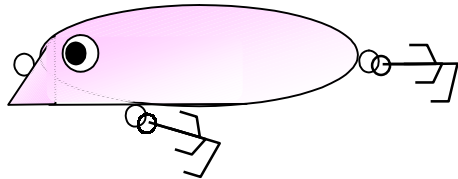
[Go to TakeCafe TOP](#)

◀ 1 2 3 4 5 ▶



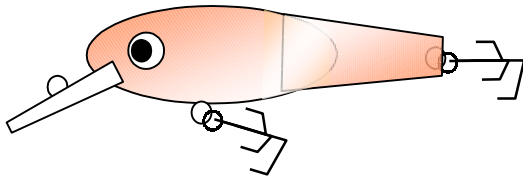
ミノー

水深50~100cmを攻めるもの。リールを巻くとブリブリ揺れて、潜っていく。もっとも定番的なルアー。ほとんどの場所で使えるよ！ フローティング(F)とシンキング(S)があり、Sは良く飛ぶけど、ほっとくと底に引っかかっちゃうぞ。



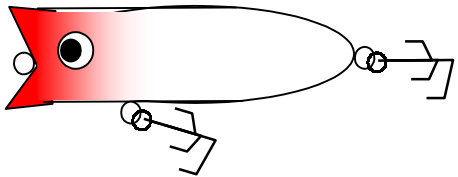
シャローライナーミノー

水面直下~50cmを攻めるルアー。シーバスは水面直下で揺らめくルアーに弱い！ドシャローを投げ倒して、ゆっくりゆっくりまくべし。水面と近い高さで扱おう！



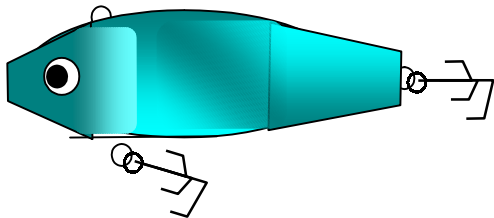
ディープダイバーミノー

水深1m~3mのディープレンジを攻めるルアー。底にゴミや障害物があるときは引っかかりやすいので注意。でもそんなところに魚はいるのさ。堤防など足場の高いところからでもしっかり泳いでくれるよ！



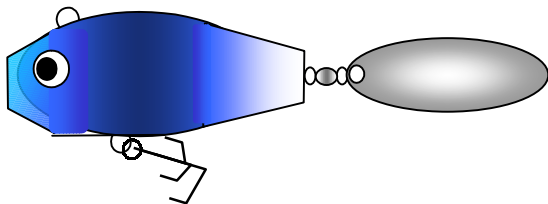
ポッパー

トップウォーターと呼ばれるルアーの1種類で、まったく沈まないぞ！クチがカップ状になってて、“ちょん”って引くと水しぶきをあげるよ。リズムカルにロッドをうごかしてアクションを付けよう！シーバスが水面を飛び出して食いついてくるのがエキサイティング！



バイブレーション

重いのでよく飛ぶぞ！広ーいフィールドで、投げまくって魚を探せ！ほっとくと底に沈んで引っかかっちゃうぞ。適度に沈めて、魚のいるレンジを探そう！



ブレードベイト

本体が鉛でできていて、尻尾にブレードと呼ばれる板がついている。リール巻くとブレードがクルクルまわってキラキラするのさ。朝や昼間に障害物のワキを“すーっ”っと引いてくるとキラメキに誘われ、“がぼっ”っと魚が食いつくよ！

シーズナルパターン

Go to [TakeCafe TOP](#)



month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	代表的なポイント
シーズンパターン													
バチ抜け		■											港湾・干潟
初夏～夏季						■						河川	
秋トップシーズン										■			ALL
スポーニング	■											■	産卵場所近隣

<p>水温が上昇してくる初夏～真夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バチ抜け終了 → ベイトは小魚へ ・水温上昇 ・港湾部水質悪化 <p>低水温で水質がクリアな外洋・河川へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨後の増水時期は河川にて高活性 → 河川の小魚を捕食。 <p>河川ベイトは定常的に存在。増水後は、流れ込み・堰堤下に落ちてくる。</p>	<p>産卵前の過ごし易い季節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水温の低下 ・産卵前の栄養補給 ・ポイントはどこでも可。 ・ベイトは… <p>河川：落ちアユ、イナッコ(ボラ稚魚) 海・港湾：回遊小魚(イワシ・コノシロ・イナッコ等) 中でもアユは1年魚であるため、晩秋の産卵後、体力をおとし海に落ちていく。 → 定常的な食料となり、河川に大型が遡上</p>
<p>狙いはバチ抜け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バチ抜け：当時期ゴカイ類(バチ)が産卵活動のため大量に水中に浮遊する。(1月末～5月) ・大潮の満月周りにてバチ抜け2～4月が最盛期。 ・港湾部の河川・水路、干潟がポイント ・バチは明かりに集まる ・流れの横の淀みなどに流されたバチが溜まる → 橋げた、河川の突起物横など 	<p>産卵期の移動行動がキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水温の低下、河川ベイトの低活性 ・産卵期：12月後半～1月海の深場へ → 河川・港湾部のシーバス量は激減 ・産卵場所近く・移動ルートがポイント <p>東京湾周辺地域では、三浦半島、富津(内房)、相模湾サーフ 産卵後はそれぞれの居場所へ順次戻ってゆく</p>

さあ、がんばって釣りにいってみよう！

フィールドを見つけ、魚がいる場所を想像し、ルアーを引こう！
シーバスがルアーにヒットした瞬間……、そのパワーに
人間の想像が自然と現実につながった感動を得ることができるよ！

Good Luck!
By TAKE-JET

